

【活用にあたって】

段落相互の関係とは、考えとその事例、結論とその理由といった関係などのことです。これを捉えるには、段落ごとに内容を正確につかみ、それらが互いにどのように結びついているのかを考えることです。精読することが大切です。

具体的には、文章の中心となる筆者の考えとそれを支える例示や引用といった付加的な部分を、叙述を基に捉えることです。「これは筆者の主張か、具体例か」と自分に問い掛け、読み進めていきましょう。そして、段落の大きな意味のまとまりをつかんだ上で、文章全体における役割を捉えることが重要です。

解答例

問1：災害教訓の周知・普及

問2：エ 第2段落の第1文を読み取りましょう。

アは博物館、イは老人ホーム、ウは消防署の地図記号です。

問3：第2段落から第5段落まで

問4：第6段落から第7段落まで

問5：歓迎・（自然災害）伝承碑・地図